

令和4年度 シュウエール鹿島田 自己評価表

記入 年月日:令和 5年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16		建物の構造で視覚になってしまう部分も多いが個別対応や特性に分けて部屋を活用する事が出来た
	2	職員の配置数は適切であるか	16		児童2人に対して1の支援員の配置をしている為1対1で見る事ができ制作や、外遊び等子供たちの希望に幅広く応じる事ができた
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	無し	無し	バリアフリーを必要とする児童はいない安全の為階段に手すりの装着等はおこなっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	8	PDCAサイクルの理解を深められるよう話し合いの場を多く設けていきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	4	イベント活動等の取り組みはできたがSST取り組む時間が少なかった
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16		今回初めて公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	無し	無し	施設としての疑問は川崎市に問い合わせをし適切な対応を行えるよう確認しながら進めている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16		施設内研修を月に2.3回実地している今後社外研修の行く時間が設けられるようにしたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	16		集団生活や時間の縛りの中で保護者の考えにより近いものを保護者と相談しながら支援計画の作成にあたっている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	4	標準化されたツールはないものの専門職で支援者会議を行い一人ひとりの特性・個性に合わせて支援が行えるよう試行錯誤を重ねている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	11	社員のみで午前中に支援者会議を行い決まったことを非常勤に周知している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16		新しい教材や取り組みを増やす努力を行い積み重ねの体験と共に豊かな経験が送れるよう試行錯誤している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14	2	一人ひとりに合わせた学習課題を用意し取り組んでいる児童の状況により取り組みを見送る事もあった
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	16		必要と判断した場合は短時間の個別や、少人数での支援を行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	6	役割分担等の役割の打ち合わせやノートでの伝え漏れ防止の取り組みをしているが、ノート等が活用されていない事もある周知徹底するまで時間がかかりそう
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	4	ヒアリ等が生じた場合や児童の様子で共有が必要な場合は行っているが、毎日は送迎の都合もあり取り組めていない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16		記録し毎朝の申し送りで共有する時間を取っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16		半年に1回以上のモニタリングを実地している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	16		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16		児童発達支援管理責任者が会議で他の職員の考えも聞き取りし参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	16		カレンダーを利用し送迎場所、時間の確認を行っている必要な時は追加でメールや電話での確認を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	無し	無し	医療的ケアが必要な児童の利用無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	12	4	療育センターや子ども家庭支援センター等との情報交換は必要に応じて適宜行っている 学校等は場所によって情報を一切教えてもらえない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	無し	無し	今は該当者がいないが、保護者の希望により実地していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	無し	無し	コロナの為実地出来ていなかったが近くの放課後デイサービスとの交流をしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	無し	無し	コロナの為実地を控えていた
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	1	朝の申し送りの時間内で行っているがもう少し時間をつくって取り組めるようにしたい
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	12	ペアトレは行ってません ペアトレの研修等は受けたので、相談があれば対応方法等をお伝えしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16		時間をかけて重要事項などの読み合わせを行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16		必要な時は施設内・外問わず相談業務を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	無し	無し	コロナ感染予防の為実地を控えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16		内容を吟味した上必要なものについては周知している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16		年度末に一年間の写真等を配布します 次年度はイベントのお知らせ等を配布していこうと考えています
	35	個人情報に十分注意しているか	16		個人情報の取り扱いについて気を付けて欲しい事等を職員に伝える様にしています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16		絵や指差しやヘルプカードの導入をし特性に合った方法を模索しながら対応しています
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	無し	無し	コロナ感染予防の為実地を控えている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	16	適宜お知らせや研修等で周知を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	非常食や非常用水等一定量の準備をしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	資料の読み合わせ等を適宜行っている 虐待防止委員会の設置
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	16	個別支援計画の中に一文を入れており、保護者には面談時に内容の説明を行っています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	アレルギー対応児童は詳しい内容を面談時に聞き取りをおこなっている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16	ヒヤリ等が生じた場合や児童の様子で共有が必要な時は会議の時や夕方の振り返りの時間で行っている

